

自治体DX推進の取組について問う



山根 洋平 (チャレンジ調布)



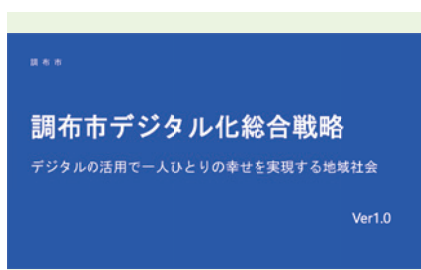
問 DXの用語の定義、使い方は人や場面によって異なる現状がある。調布市における自治体DX推進の意義と、想定される将来像について、市としてのどのような考えを持って取り組んでいるのか認識を伺う。

市長 自治体DXの推進は必要と認識。現在、市民がパソコンやスマートフォンから諸手続ができる「どこでも市役所」の実現に向け準備を進めている。新時代の市役所の姿を明確にする。問 地方公共団体情報システム

の見直しや業務効率化は④デジタル人材の育成についての取組状況は。行経部長 ①市のシステムと国が示すシステムの機能等の違いを分析中②デジタル庁の定めた安全な専用回線を利用予定③事務及び申請手続の簡素化等につきながら、運用面の負担軽減できると認識④J-LEIS等への継続的な職員派遣やデジタル化推進員を中心に国家資格の取得支援、関係機関実施の研修に参加

問 近年はサイバー攻撃の内容が巧妙化しており、より高度なセキュリティ対策が求められていると言え、それを踏まえ、

情報セキュリティ対策における①組織体制は②シシワライアント環境構築についての考え方は③職員に対する訓練や研修の取組は。行経部長 ①副市長を責任者と



調布市デジタル化総合戦略1.0



阿部 草太 (チャレンジ調布)

災害時通信対策・財源確保



京王多摩川駅周辺開発について

問 災害時のインターネット通信環境整備としてのスターリンクの有効性と今後の進め方は。行経部長 災害時の通信手段として有用と認識。今後、導入に向け有効な活用方法を検討。

問 000000JAPANを多くの市民へ周知する施策は。行経部長 市報、市HPや出前講座を通じて周知を図っていく。問 財源確保策としてのネーミングライツの取組状況は。行経部長 他市動向や企業等への意向調査を踏まえ導入を検討。

問 災害時のインターネット通信環境整備としてのスターリンクの有効性と今後の進め方は。行経部長 災害時の通信手段として有用と認識。今後、導入に向け有効な活用方法を検討。

問 京王多摩川駅周辺開発で新



京王多摩川駅周辺の主要道路 市道C18号線

設される道路により、市道C18号線の交通量を半減し安全性を確保する対策への考えは。都整部長 市道C18号線の当該区間について、交通量は減少するものと想定しているが、まち

問 今後の具体的なスケジューリングと周辺への周知方法は。都整部長 6年度に京王電鉄が開催予定の説明会で工事内容が判明。適時適切な周知に努める。

用語の解説

※印の用語解説

DIS

東京都災害情報システムの略称。災害時に防災機関等から収集した被害・措置情報等を都本部が一元管理するシステム。端末設置機関は災害情報を活用し、災害対策活動に活用できる。

シンククライアント 職員などが使うコンピュータ(クライアント)の機能を最低限とし、サーバーでアプリケーションソフトやファイル等を管理するシステムの総称。運用・管理コスト削減やセキュリティの観点からも注目されている。

ブゼロジャパン) 平時に電気通信事業者等が有料で提供している公衆無線LANサービス(Wi-Fi)を、災害時に無料開放する民間の取組

合理的配慮の提供 障害のある人にとっての社会的なバリアについて、個々の場面で障害のある人から「社会的なバリアを取り除いてほしい」という意思が示された場合には、その実施に伴う負担が過重でない範囲で、バリアを取り除くために必要かつ合理的な対応をすること。

たばこ対策について



沼田 亮 (自民・維新の会)



問 受動喫煙防止、また市民の健康を守る観点から、最も有効な対策は喫煙率自体を低下させること。喫煙率低下のために、若年層に対する喫煙防止教育や、喫煙者に対する非喫煙啓発活動が非常に重要であると考え。

また、医師など専門職のアドバースを参考に、科学的なアプローチから喫煙防止対策に取り組む機会も大切。市の現在の取組状況と今後の対策の見解を問う。副市長 市立小学校では2年度以降、関係機関の協力の下、防煙教育を延べ11回実施。市立中学校も、アフラック生命保険株式

協定に基づき、たばこの健康被害を含めたがん教育を延べ12回実施。喫煙者には調布市医師会の医師による禁煙相談事業を継続。5年度から卒煙支援の試行的取組である都の禁煙支援モデル事業へ参加。引き続き様々な機会を捉え、幅広く禁煙や受動喫煙防止の周知啓発に努める。

問 元年7月1日に調布市受動喫煙防止条例が施行され、同条例第14条では喫煙禁止区域において喫煙中止命令に従わない場合、2千円の過料を科す旨が明記されている。4年度の市民意識調査報告書で約半数の市民が条例を知らない現状を踏まえ、



路上喫煙禁止を訴える横断幕

罰則規定の記載がある強い周知啓発が必要と考える。過料適用に向けた今後の市の見解を問う。福祉部長 路上喫煙に対する抑止力として、過料の徴収は一定の効果があると認識。他自治体の取組等も参考に、過料の規定も含め更なる啓発強化に向け検討。過料の適用は、庁内連絡会議で、パトロールの報告や周知啓発の成果等を毎年度検証した上で、総合的に検討。

調布都市計画神代公園、北部地域



田村ゆう子 (日本共産党)



デマンド型交通について問う

問 都市計画神代公園整備に当たり、立ち退きを求められ、不安を抱える住民に市は寄り添うべき。①都市計画公園・緑地の整備方針の2年改定時の姿勢は

②住民説明会の再実施についての取組内容とこれからの姿勢は③同じく優先整備区域の深大寺北町2丁目も早急に説明会を行うべき。都に求めよ。環境部長 ①都と市で検討委員会を設け、事業進捗を踏まえ改定。都は神代公園、市は深大寺・佐須地域農業公園を優先整備区域に位置づけ②都に再度開催を求め6年3月下旬にオープンハウスを実施予定③都は地域

住民への説明会開催すると認識。問 北部地域デマンド型交通について①利用人数は②課題は。外支部長 ①1日当たり平均は6年1月、2月ともに約3人②利用方法の周知や料金設定、将来的な経費負担の見極めなど。

問 利用人数はこれまでの巡回交通の1割で危機的状況。抜本的な改善が必要。①今後の改良点は②利用料を下げよ③乗降場所の増加と掲示の工夫を④電話予約の推奨を⑤アプリの改善を。外支部長 ①持続可能な公共交通を目指す②一定の受益者負担が必要③9か所の追加に向け手続中。目視しやすい形状等の検



調布都市計画神代公園 (出典：東京都都市整備局HP)

事業の概要 【再掲】2.2 都市計画神代公園の概要

●「年」及び「年度」については「令和」を表記していません。